



生涯学習・社会教育 プログラム事例

環境教育のプログラムの例

特定非営利活動法人ECOPLUS(エコプラス) 平成22年度社会教育による地域の教育力強化プロジェクト採択事業 「農山村のひとと暮らしが支える地域の教育力」

(概要) 過疎高齢化に直面する小さな山里を舞台に、地域の人々が指導者となって、都市部からの来訪者に環境教育と体験学習を提供するプログラムを実施し、地域住民を巻き込んだ教育活動の在り方の可能性を探る。

(22年度実施したモデルプログラム)

- ・テーマ1: 夏祭りと歴史(23名参加)
- ・テーマ2: 稲作(20名参加)
- ・テーマ3: 食(17名参加)
- ・テーマ4: 暮らし(16名参加)
- ・テーマ5: 雪(10名参加)

いずれも首都圏などの社会人や学生が参加し、1泊2日で農山村の自然と暮らしに触れた。地域の博物館での学習や歴史講話なども折り込み、地域の住民らが散策や農作業体験の指導者として深く関わる構成とした。

(成果)

- ・参加者の9割強が、「新たな学び」を得たと回答。
- ・受け入れた集落でも参加者と一緒になって地域のことを学びたいという若い世代の気運が高まった。

人権教育のプログラムの例

一般市民向け 講座型プログラム (東京都23区の一例)

目的

歴史をはじめ、まさに今起きている社会問題の詳細事例まで幅広く学び、さまざまなテーマ、角度から「人権課題」について考える。

内容

人権セミナー「人権課題入門」

・期間: 2時間×4日間

・学習方法: 講義

・学習内容

1. 江戸の被差別民社会の歴史探訪 講師: (社)東京都部落解放研究所
2. 犯罪被害者の人権 講師: 地下鉄サリン事件被害者の会
3. 高齢者虐待の現状と対応 講師: NPO法人日本高齢者虐待防止センター
4. 路上生活者の人権 講師: NPO法人自立生活サポートセンター「もやい」

一般市民向け ワークショップ型プログラム (東京都23区の一例)

目的

あふれるメディアから子どもたちを守るために、地域の大人たちとともに、「いじめ」やいのちの大切さについて、加えて家庭でのルールづくりはどうあったらよいかなどを話し合う人権・防犯教室を開催する。

内容

人権講座「子どもにもたせる携帯電話の危険とは！」

・期間: 2時間

・学習方法: ワークショップ

・学習内容:

1. ワークショップ: テーマ「いじめ いのち」を損なうもの・自殺を防止するため
2. 講師の話 & ビデオ視聴「いのちのコトバ」
3. ファシリテーターによる「ファミリエ ルール」づくりと話し合い

学生向け 参加体験型授業プログラム (市教委モデル事業の一例)

目的

デートDVの実態を知り、男女が尊重しあう関係性のあり方を学ぶ。

内容

デートDV防止参加体験型授業プログラム

・期間: 100分

・学習方法: 講義、劇、グループワーク

・学習内容:

1. 講義「DVとは、デートDVとは」(実態・数値を含め学ぶ)
2. 劇(デートDV被害者の女子高校生とその友人、デートDV加害者の男子高校生とその友人)
3. グループワーク(劇の登場人物に何ができるか考える)

人権教育指導者向け 参加体験型研修プログラム (市教委主催研修の一例)

目的

参加体験型の研修会を企画・実施できる人材の養成をめざし、人権の意義・内容や人権・同和問題についての幅広い学習機会を提供するとともに、参加体験型の手法を取り入れた研修会を実施するための技能研修を目指した研修機会を提供する。

内容

人権・同和問題研修ファシリテーター講座

・期間: 第1期(6ヶ月 合計7回)、第2期(1年 合計9回)

・学習方法: 講座、プログラム作成体験、ワークショップの実践

・学習内容:

【第1期】

1. 人権・同和問題講座「部落の歴史を学びなおそう」 ほか
2. 同和問題ワークショップ教材の作成 ほか

【第2期】

1. 講座「ファシリテーターの役割? 参加型学習とは?」 ほか
2. ワークショッププログラムづくり体験 ほか
3. 開発した人権学習プログラムの実践

高齢者大学・市民大学におけるプログラムの例

社会参画重視型

江戸川総合人生大学(江戸川区)

目的

社会貢献を志す人々を応援する新しいかたちの学びの場であり、講義やグループ討議、体験学習など、多様な授業で楽しく学び、卒業後に地域貢献活動につながることを目指す。

内容

期間:2年間(1年次は年間60回程度、2年次は年間30回程度で専門科目の他に社会活動体験を40時間体験)

学習方法:講義、グループ討議、体験学習

学習内容

1. (1年次)専門科目(専門研究)と共通基礎科目を学び、知識と経験を高める。
2. (2年次)専門科目(課題研究)と社会活動体験を通じて、課題認識を深め実践力を高める。

すぎなみ地域大学(杉並区)

目的

協働による新しい自治のまち・杉並の実現を目指し、地域サービスを地域住民自らが担うために必要な知識・技術を学び、仲間を助け、具体的な地域活動に取り組むための各種講座を実施。

内容

期間:前期・後期で複数のコースを提供しておりコースで異なる(3回~20回まで)。

学習方法:講義

学習内容

各コースごとに地域活動に必要な知識・技術を学ぶ。

生きがい重視型

いなみの学園(加古川市)

目的

高齢者が自ら仲間づくりの輪をひろげ、生涯学習を通して教養をより高めるとともに、自己の新しい生き方を創造し、地域社会に発展寄与できるよう総合的、体系的な学習機会を提供する。なお、地域のリーダー養成に重点を置いた、地域活動指導者養成講座や大学院(それぞれ2年制)も設置。

内容

期間:4年間(週1回、年間30回、120授業時間)

学習方法:講義

学習内容

1. 一般教養(歴史・文化、自然、健康、福祉・介護、生き方・人間関係、社会の動き、教育)
2. 各学科(園芸学科、健康作り学科、文化学科、陶芸学科)ごとの学習

明寿大学(前橋市)

目的

- ・自己啓発をとおして、生きがいをもち、地域の中で新しいライフスタイルを創造
- ・自らの豊かな経験を生かして、ともに学び合いながら、地域のために活動する意欲を培う。
- ・地域で活躍できるよう、必要な知識、技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。

内容

期間:4年間(月2回、9:30~15:00)

学習方法:講座学習、研修、視察

学習内容

1. 変容する社会に適應できる知識の習得
2. 家庭地域社会での役割の自覚、世代間の理解、よりよい人間関係の形成
3. 心身の健康維持に必要な知識と技能、生活習慣形成・改善
4. 仲間づくりと趣味の拡充・向上、充実した日々の主体的実践態度の形成
5. 高齢社会での熟年期の生き方、暮らし方
6. 自立支え合い、健康で生きがいのある地域社会づくり

大学連繋型高齢者大学・市民大学におけるプログラムの例

社会参画重視型

チャレンジコミュニティ大学(港区)

目的

高齢者や高齢を迎える方が、学習を通じて個々の能力を再開発し、自らが生きがいのある豊かな人生を創造するとともに、今まで培ってきた知識・経験を地域に活かし、地域の活性化や地域コミュニティの育成に積極的に活躍するリーダーを養成することを目的とし、港区が明治学院大学に業務委託し、大学内に開設。

内容

期間: 1年間(週1回、2時限180分)40日

学習方法: 講義、実習、見学

学習内容

1. 社会福祉(ボランティア、NPO活動含む)
2. 健康増進(健康・スポーツ)
3. 一般教養(文学、芸術、心理学、法律、政治経済)
4. 区のしくみ、行政課題等

なかの生涯学習大学(中野区)

目的

・自己啓発をとおり、生きがいをもち、地域の中で新しいライフスタイルを創造
・自らの豊かな経験を生かし、ともに学び合いながら、地域のために活動する意欲を培う。
・地域で活躍できるよう、必要な知識、技術を高め、地域社会への主体的参加の促進を図る。

お茶の水女子大学文教育学部、東京学芸大学教育学部ほかと連携

内容

期間: 3年間(年22回)

学習方法: 講義、実習、地域学習、合同学習

学習内容

1. 地域活動(社会参画、まちづくり)
2. 健康増進(健康・介護、生き方)
3. 一般教養(文学、芸術、心理学、法律、政治経済)
4. コース(老いを心豊かに生きる、 歴史・文化、 国際理解、 教育支援)

生きがい重視型

立教セカンドステージ大学(立教大学)

目的

シニア世代とそれに前後する各世代が自らの生きる意味と、他者とともにあることの意味をじっくり考え、シチズンシップをわきまえた市民社会の主体的一員、すなわち真の「市民」として生きていくには何が必要かを真剣に学びあう、新しい生涯学習の場を構築すること。修了者には、文部科学省が定めた学校教育法第105条に基づき、「履修証明書」が授与される。

内容

期間: 1年間(所定の履修科目18単位以上の取得並びに終了報告書の提出)

学習方法: 講義、ゼミ

学習内容

1. エイジング社会の教養科目群(23科目)
2. コミュニティデザインとビジネス科目群(10科目)
3. セカンドステージ設計科目群(13科目)
4. ゼミナール・修了報告書

特色ある地域づくりを実践している例 ～鹿児島県志布志市

少子高齢化社会の活性化と、市民を主役にしたまちづくりの推進を目指し、「創年市民大学」を設立。

事業内容

少子高齢化社会の活性化と、市民を主役にしたまちづくりの推進を図るために設立された市民大学。

「創年(新たな人生に挑戦する生涯現役を目指す人の呼称)と、子どものまちづくり」と「地域額から始まるまちづくり」をコンセプトとして、様々な学習や活動を実施。

2つの志 1つ 「創年と子どものまちづくり」
1つ 「地域学から始まるまちづくり」

+

全国のまちづくり実践の第一人者を講師に迎え、事例を**楽しみながら**、まちづくりを調査・研究・実践する**人財づくり**。

効果の例

まちづくりの主役として活躍する市民づくり

創年市民大学生25人を中心に生涯学習講座兼、創年市民大学自主研究グループとして「だいやめ講座」を開講

➡ 本格焼酎「創年の志(こころざし)」が誕生



創年市民大学の特色

- (1) 総長・学長・名誉学長がいる
- (2) 校歌「桜の木下で」がある
- (3) 創年の鐘を鳴らす(大学の始めと終わりに)
- (4) 修学旅行(1泊2日)・学園祭がある
- (5) 座禅とビアガーデンに行く
- (6) 飲ん方(講師を囲んで)が必ずある



公民館が中心となって、特色ある地域づくりを実践している例 ~ 島根県松江市揖屋公民館 ~

神話や伝統など、地域の歴史を題材にした学習を通して、住民が地域に関心を持ち、地域文化の継承を目指した「東出雲歴史・史跡を探索する会事業」を実施。

目的

東出雲町やその周辺地域の歴史、人物、史跡を題材にした郷土学習をすることで地域の伝統や分野を深く知る。郷土の歴史を学習し、地域に関心を持ち、さらに地域に愛着をもって生活していく。公民館が中心となって、地域の歴史を題材にした事業を展開し、地域を深く知ってもらうような活動を行う。

事業内容



効果

東出雲町及び周辺地域の歴史を学習し、住民が地域の伝統や文化を深く知ることができた。また、学習した歴史・史跡などの題材をパンフレットなどにまとめることで、公民館を中心とした地域のガイドマップ作成にも利用することができ、住民が地域のことに関心をもつ契機となった。

課題

充実した研修会を多く行うことで、今後も広く深く、東出雲町やその周辺地域の歴史・伝統・文化を住民にお知らせできることが期待される。今後は学習した受講生自らが新たな学習課題を見つけて、さらに調査研究することなど、地域の歴史を深く追究する姿勢を醸成することを目指す。

博物館が中心となって、特色ある地域づくりを実践している例 ～長野県松本市立博物館～

松本市域を「屋根のない博物館」としてとらえ、施設内という限定された空間から環境そのものを博物館とする開かれた博物館活動を目指し、「松本まるごと博物館構想」を実施。

概要

これまでの施設中心の博物館から脱却して、市域に点在する多くの博物館施設を拠点とし、施設と資源、施設と人、資源と人、そして人と人といったネットワークを構築するため、市民学芸員の養成、積極的な見学会の開催と見学ルートの設定、体験型講座の開催など、新たな博物館活動を展開。

具体的な取組

・環境と博物館の融合

自然環境や文化遺産を現地で保存して活用するとともに、生活環境や景観、文化、産業等を一体としてとらえ、特徴ある地域のまちづくり等に寄与。

・市民と博物館の連携

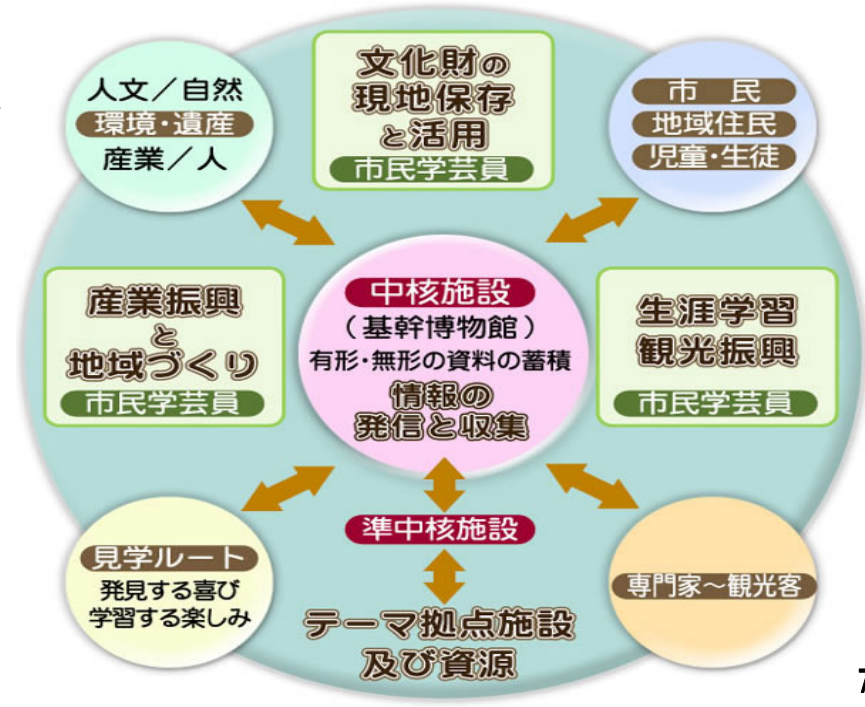
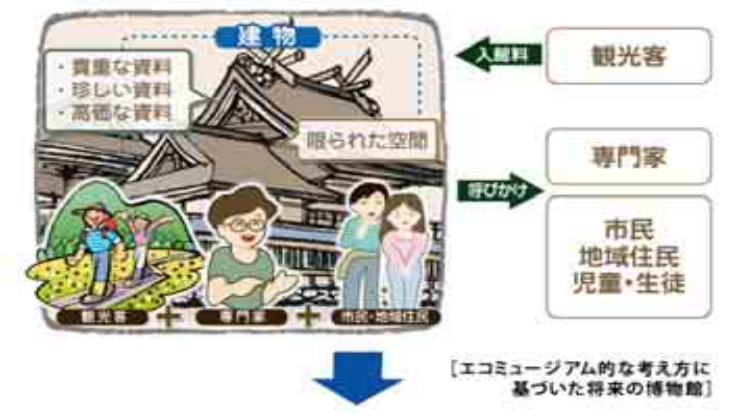
利用する市民の誰もが主役となるよう、企画・運営、調査・研究など新たな参加の形態を満たすように、博物館機能を充実。

・ネットワーク化の推進

地域を総合的に理解できるよう、まちなりたちと自然環境、自然環境と文化遺産等を結びつけ、地域社会と市民情報と市民 などあらゆるネットワークを媒介。

・博物館機能の重視と施設の活用 - 新たな博物館像の創出 -

これらの活動を推進するにあたり、博物館本来の機能を重視し、市域点在型博物館という松本市の特徴を最大限にいかした新たな博物館像を創出。



一旦離職し、職業への復帰を望む女性へのプログラムの例

【日本女子大学】

大学卒業後就職し、育児や夫の転勤、進路変更などで離職した女性に、再就職に必要な英語、ITスキル、ビジネス知識を習得させるリカレント教育の実施と、再就職先を斡旋する取組

対象者：4年制大学を卒業して就職後、一旦離職し、職業への復帰を望む女性(年間60名(各学期30人入学))

期間：1年間(315時間必修)

プログラム構成

- ・書類審査および簡単な英語とPC入力速度のテスト
- ・キャリア開発論 および必修科目7科目、選択必修科目7科目の合計14科目(28単位)の修了とインターンシップの実施
- ・当課程修了者限定の求人情報を載せたウェブサイトによる再就職の斡旋(就職希望者の就職率100%(非常勤含む))

【リカレント教育課程 カリキュラム一覧(2008～2009)】

科目群	科目名	必修	
キャリア開発論 (無単位)			
キャリア・スキル科目群	英語特訓科目	英語特訓A-1	必修
		英語特訓A-2	
		英語特訓B-1	
		英語特訓B-2	
ITリテラシー科目	初級	必修	
	上級A		
	上級B		

科目群	科目名	必修
キャリア基礎科目群	< 目白キャンパス > 教養科目 各学科専門科目	選択必修
	< 西生田キャンパス > 展開科目 各学科基本・専門科目	

科目群	科目名	必修
キャリア形成科目群	キャリア開発論	選択必修
	選択英語(ビジネス英語)	
	企業会計入門	
	税法入門	
	金融リテラシー	
	< (株)千代田テクニカル寄付講座 > 地球環境とエネルギー産業	
	現代企業と人的資源管理	
	労働保険と社会保険 (社会保険労務士準備講座)	
	消費生活アドバイザー準備講座	
	消費生活アドバイザー準備講座	
	公認内部監査人準備講座	
	公認内部監査人準備講座	
	NPOとNGO	
	現代ビジネスと起業	
	産業の実情と働き方 (流通産業)	
産業の実情と働き方 (ファッション産業)		
国際ボランティア論	選択	
ライフステージと法		
インターンシップ	選択	

【国際ビューティモード専門学校】

出産、子育てなどで一時職を離れた女性美容師に対し、カット、パーマ、ヘアカラーなどの「技術指導」と共に、キャリアカウンセリングを基本とした「就職指導」を行い、美容師としての再就職を支援する取組

期間：4ヶ月間

(必須受講講座時間数 54時間(3時間×18日))

プログラム構成

「技術指導講座」：「カット」については必須講座、他の技術講座「パーマ」、「ヘアカラー」、「メイクアップ」、「ネイル」については希望制

「カット」：ベーシックテクニック 30h

「パーマ」：各種ワインディング技法、ピンパーマ技法等 12h

「ヘアカラー」：ベーシックテクニック及びホイルワーク等 12h

「メイクアップ」：ベーステクニック及びパーツレッスン 24h

「ネイル」：ベーシックケアカラーとジェルネイル 24h

「就職指導講座」：必須講座

「キャリアカウンセリング」：自己分析、ビジネスコミュニケーションスキル分析、アピールポイント及び志望動機の構築、面接指導等 24h

講座終了後

必須講座修了者に講座独自の履修証明書の発行

現場復帰を阻んでいるものとして、次のことが判明

ブランクにより技術力低下に対する不安

求人や研修などの情報不足

労働環境(通勤や託児所の問題)、雇用条件(勤務時間、

有給休暇)への不安

キャリアアップを考えている社会人向けのプログラムの例

【東京工業大学】

関東圏の中堅企業 / 中小企業に勤務する35歳前後の社会人が技術経営(MOT)を学び、自社における経営層へのキャリアアップを図るための学習機会を提供する取組

対象者: 関東圏の主に中堅企業 / 中小企業に勤務する次世代の企業経営を担う社会人(平成20年度実績17名修了)

期間: 1年間(週1回、水曜(全45回)1.5時間)

プログラム構成

「講義&演習」、「グループ演習」により12科目で構成。

学習内容は、中堅・中小の現場で活躍する人材像から「実務的な視点」を意識。グループワークを通じた交流など、多様な企業から参加する受講生間の交流に配慮。



講座終了後
修了証書の授与

実施体制

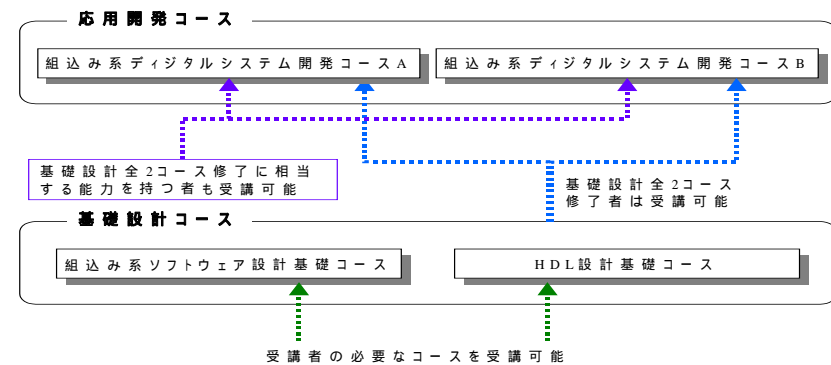
プログラムに対する客観的評価や改善のための意見をもらう目的に、(独)メディア教育開発センター、商工会議所、民間企業の委員で構成されたアドバイザリーボードを設置

【仙台電波工業高等専門学校】

キャリアアップを考えているハードウェア設計技術者や組み込み系ソフトウェア技術者、これから組み込み系業界へ就職・転職を目指す工学系学校卒業生等を対象に組み込み系デジタルシステム設計技術を習得することを目的とする取組

プログラム構成

- ・組み込み系ソフトウェア設計基礎コース(設計基礎A)
- ・ハードウェア記述言語(HDL)設計基礎コース(設計基礎B)
- ・組み込み系デジタルシステム開発コースA(応用開発A)
- ・組み込み系デジタルシステム開発コースB(応用開発B)



eラーニングにより自宅等でも受講、テスト、演習が可能

期間:

- ・設計基礎A、B: 講義実習12時間(1日3時間×2回+1日6時間)+eラーニング学習18時間
- ・応用開発A: 講義実習12時間(1日4時間×3回)+eラーニング学習18時間
- ・応用開発B: 講義実習24時間(1日6時間×4回)+eラーニング学習16時間

講座終了後
履修証明の発行

定職・学籍を持たない若年者向けのプログラムの例

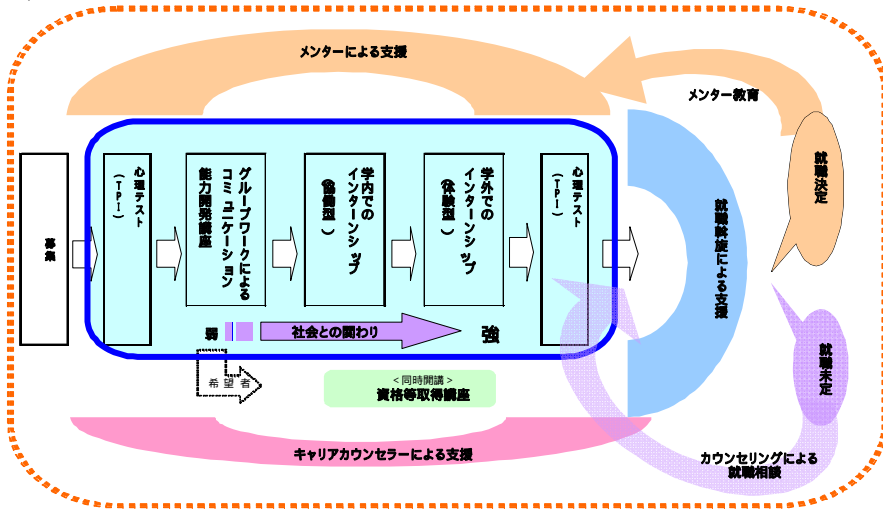
【武蔵野大学】

就職の希望を持ちながら大学卒業時に無業であった若年者に対して、大学のキャリア開発科目を体系化した「コミュニケーション能力開発プログラム」の提供及びキャリアコンサルタントによる就職相談などの支援を行う取組

対象者: 大学卒業後、現在仕事をしていない者(14名程度)
(特に自己肯定感や対人関係に課題を抱える者を対象)
期間: 約半年(教育プログラム(4ヶ月)、就職支援(2ヶ月~))

プログラム構成

- 自己理解(心理テスト(TPI)を活用した自己理解ワーク)
- グループワークによるコミュニケーション能力開発講座
(心理的に安全な「場」を構築するワーク、業界分析、社会人として必要な基本知識とスキルの修得、野外における協働・コミュニケーションの実践型体験学習)
- インターンシップ(協働型・体験型)
(社会との関わりを段階的に広げていくプログラムの実施)
- フォローアップ・プログラム
自身の行動や意識の変化を共有し、自身のアクションプランを策定



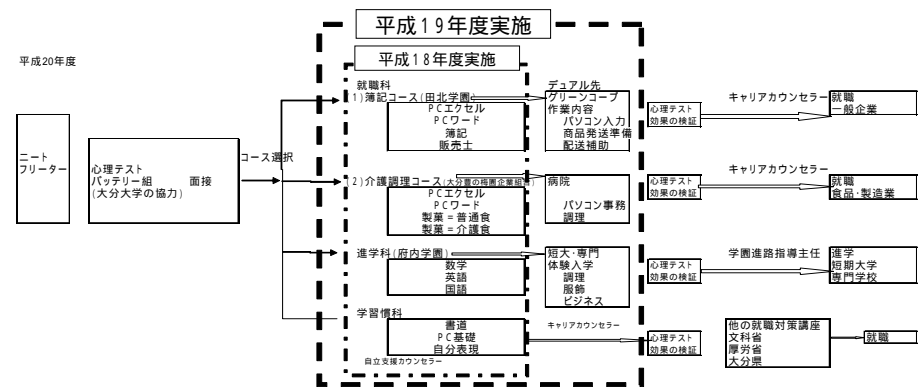
【府内学園(専修学校)】

進学及び就職といった目的別の講座の実施と、NPOなどの関連団体と連携した受講者のケア及び就職支援を行う取組

対象者: 18~35歳程度の定職・学籍を持たない若者(約40名)

プログラム構成

- 対人関係に苦手意識を持たない商業系統の就職希望者
簿記コース(販売士、簿記3級、CS検定3級・2級)
 - 対人関係が苦手、生活の糧となる技術を身につけたい者
製菓コース
 - スキルアップと高い理想を持つ者
進学科(国語、数学、英語、その他=入試対策)
高卒認定試験、短大・専門学校入試を視野
 - 長いニート生活で学習に慣れていない者
PC基礎、書道、自分表現(演劇)講座
- 受講履歴はジョブカードに記載



関係団体との連携

大分大学、大分県、ハローワーク、大分県社会福祉士会、大分県商工会議所、大分青年会議所、NPO団体による連絡協議会を構成し、各種支援を実施。
(ex. 支援を要する若者の紹介、臨床心理士の派遣、就職支援など)